

## 管理業務年間作業基準

作業区分		処理回数	処理基準	処理内容
(1) 刈込み	グリーン	年間 150回以上	○練習グリーンは、3等分し使用しない2スパンは綱張りし、使用部分を刈り込む。 ○各ホールの刈り込みは、スタート前に使用グリーンを刈り込む。 ○軸刈りに十分注意すること。	○春先と秋口は、若干長目とし梅雨から初夏は短目 ○芝の刈り高は、4.0～5.0 mmとする。 ○最盛期の刈り込み頻度は、毎日とする。 (カラーの刈高は 10 mm前後、刈り幅は50cm とする。)
	ティー	年間 50回以上	○ティー周辺の、PG 周辺は、ラフの刈り高と同様とする。 ○刈り込み期間は4月～11月とする。	○芝の刈り高は、10～13 mmとする。 ○刈込み頻度は、最盛期週 3 回とする。
	フェアウェイ	年間 40回以上	○トラ刈りや仕上がり面が見苦しく無いように注意する。 ○サッチの蓄積に十分配慮する。	○刈り高は 15～18 mm ○刈り込頻度は、ピーク時には、週 3 回とし、それ以外は週 2 回とする。
	ラフ	年間 25回以上		○刈り高は、40～50 mmとする。 ○頻度は、週 1 回とする。
	ブッシュ	年間 18回以上		○最盛期は月2回とする。
	右側法面 右側 GL 左側法面 川崎橋東西	適宜	○刈り込み頻度は、雑草等の生育速度とプレー条件、国土交通省の刈り込み時期等を考慮して定める。	
(2) 目土(砂)	グリーン	年間 4回以上	○エアレーション後は、2.0～2.5L/㎡ その他は、0.5～1.0L/㎡とする。 ○目土に粗い砂が含まれている場合は除去する。	○4月、6月、8月、10月 使用砂は、良質な山砂で微砂の少ないもの。 ○エアレーションとの併用
	フェアウェイ	1回	○1回当たり散布量は、5～10L/㎡位	・6月に実施(梅雨前)
	ティー	年間 3回以上	1回当たり散布量は、4～5L/㎡位	○4月、6月、9月に実施
(3) 灌水		適時	○芝生への灌水は、夏季の乾燥時のみでなく冬季も萌芽時も十分に配慮	

(4) 施肥	グリーン	年間 5 回以上	○化成か液肥かは過去の実績芝生の生育状況から慎重に決定する。 ○マットの形成を抑制する。 ○散布むらに注意する。	○萌芽時は、窒素の多用や高濃度施肥に注意する。 ○晩秋の施肥が肝要(少量の窒素や鉄) ○4 月の初旬～11月下旬に実施。
	ティー	年間 3 回以上	○大きな損傷に対応できるよう十分に施肥する。	○4 月、9 月、11 月に実施
	フェアウェイ	年間 2回以上	○グリーン手前 30Y 以内のアプローチエリアはターフの損傷が大きいので十分に施肥する。	○4 月、11 月に実施 ○秋口の施肥(化成)による葉焼けに注意する。
(5) 薬剤散布		適宜	○害虫の防除については害虫リストの作成や重要度の順位等を定め広い視野に立ち、総合的な防除手段を考える。	○止むを得ず除草剤を使用する時は、諸条件を見極めて使用量や散布時期を決定する。
(6) 除草		スタートホール周辺、クラブハウス周辺、全コースについて手取りで行う。プレーに支障がある箇所については、休日に多人数で行う。		
(7) カップ切り		カラー端より旗竿の 1.5 倍以上の箇所に適切なサイクルで切る。		
(8) ディポット直し		ホールアウト後又は、休日にティー、スルーザグリーンのディポットを砂で埋める。		
(9) ボールマーク直し		グリーン上のボールマークをフォークで直し、目砂を入れる。		
(10) ティマーク移動		芝の場合は、毎日移動する。レディースティーのないホールについては、赤マークを白マークの前方にセットする。		
(11) アンダーリペア		スルーザグリーンの修理地等をアンダーリペアにする場合は、白線又は、青杭で表示する。		
(12) 修復作業		コース内の各種工作物の補修、修繕等		
(13) バンカー砂補給		雨水等で砂が流出し地面が見えるバンカーに対する砂補給		
(14) バンカー均し		凸凹部分を均し、固く詰まった状態にならないようにする。		

(15)コース内清掃	ホールアウト後コース内のゴミを清掃し常にコースの環境美化に心がける。
(16)刈り芝の処分	コース内に残さずコース外で適切に処分する。
(17)エアレーション	グリーン、ティーそれぞれ年 2 回実施するフェアウェイについては、施肥との併用を考慮して行う。
(18)樹木の管理	樹木の管理、花壇の手入れ、植樹、移植等
(19)歩経路	ゴルフ場内の歩経路の管理、設置、清掃
(20)看板等	各種看板、標示杭、標示板等の設置管理
(21)簡易トイレの管理	コース内(2 箇所)及び練習場(1 箇所)の簡易トイレの管理、清掃(週 3 回)
(22)有害鳥獣対策	被害箇所の早期発見に努め、適宜対策を検討する。
(23)グリーン色付け	10, 12, 2 月自然色に近似する配色を研究し色むらに注意する。
(24)芝生の張替え	損傷部分の張替え、べた張りとする。廻りの芝との高さをそろえる。
(25)ティーマットの維持管理	芝生の冬眠期にティーマットを使用する際のマットの設置、マットの交換、撤去(芝生部分と同レベルにする)
(26)コース内巡視	プレー中、プレーの前後コース内の巡視をし、コースの安全を確認する。
(27)除雪・融雪等	軽度の除雪・融雪作業を行う。
(28)練習グリーン	コース内のグリーンと同等の維持管理をする。